



広報 2025 3月
No.1267 第3金曜日号

ひらつか

見附町の平塚二葉幼稚園に飾られている肖像画。子どもたちを優しく見守るようにほほ笑む人物は、園の創設者である比企キヨだ。明治～昭和の時代を生きた彼女は、地域、女性・子どものために生涯を尽くした。

今をつくった女性たち

目次

1～4面…**特集** 近代平塚の女性たち…明治～昭和の時代を自分らしく生き抜いた、平塚ゆかりの女性たちを、博物館特別展に先駆けて紹介します。
4～7面…募集・お知らせ・健康と福祉

8面…「ひらつかTopics」「市長コラム」
広報ひらつかのPDF版は市ウェブからご覧いただけます。アプリ「マチイロ」や「Catalog Pocket(10言語対応)」からも最新版がご覧いただけます。

●発行 平塚市 ●編集 広報課 ●法人番号 3000020142034 〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号 ☎0463-23-1111 〆0463-23-9467

●配布のお問い合わせは、ミッド ☎0120-350311 (月～金曜日、午前9時30分～午後5時)



Hiratsuka City

女性と子どもの ために尽くした 地域活動家

比企キヨ

明治10(1877)年に現在の二宮町中里で生まれる。旧姓・水島。父は民権家で、23(1890)年に県議会が廃娼案を可決した時の議長だった、水島保太郎。25歳のときに開業医の比企喜代助と結婚。これを機に平塚市へ。昭和37(1962)年没、84歳。



1955年ころ(森光世氏蔵)

自分らしく生き抜いた

近代平塚の 女性たち

博物館の春期特別展「近代ひらつかの女性たち」が、3月22日(土)から始まる。今年は昭和50(1975)年に国際連合が「国際女性年」を宣言して50年。この節目に、特別展では、明治と昭和の時代を自分らしく生き抜いた、平塚ゆかりの女性10人の足跡をたどる。今号では、その中から3人の女性を紹介する。

博物館 33—5111

各人物の記事では、ジェンダー平等などに配慮し、資料と表現を変更している部分があります。

不屈の闘志と行動力

比企キヨは、富国強兵が進む時代で蔑ろにされてきた女性や子どもが、尊重される世を目指して奔走し続けた人物だ。地域の風紀粛正や廃娼運動の他、平塚初の幼稚園創設とその経営に生涯を尽くした。キヨの展示を担当した星賀さんは、「民権家のお父さんの元で養われた自主自立の精神と、並外れた行動力を持った方です」と話す。

良き理解者と共に

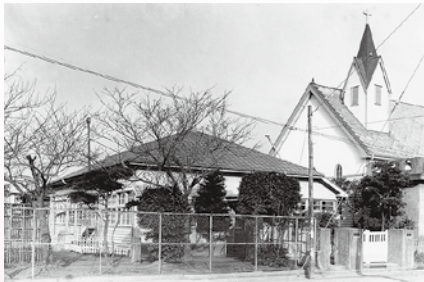
キヨは明治36(1903)年、平塚で内科医をしていた比企喜代助と結婚。42(1909)年、医院の近くに日本美普教会の平塚講義所ができたのをきっかけに、キヨは教会に通い、44(1911)年にキリスト教の洗礼を受けた



平塚二葉幼稚園の第1回卒園式(1925年・比企清名誉園長追憶文集『清き香り』)

平塚初の幼稚園を開設

大正12(1923)年の関東大震災で、キヨは脊柱を痛め



平塚二葉幼稚園。右側は日本基督教団平塚教会(1958年・二宮純子氏蔵)

るほどの重傷を背中に負った。しかし、自身の療養よりも優先したのが幼児教育だった。復興の陰で見過ごされた幼児を憂い、半壊していた教会堂で重要性を訴え続けた。震災の翌年には、平塚初の幼稚園となる平塚二葉幼稚園(教会付属)を開いた。キヨはそこから35年間、園長として経営の安定に腐心することになる。

また、幼稚園が開設された翌年、園医を引き受けていた喜代助がついに受洗。現在の見附町への園舎建設や教会堂の新築などを、喜代助がけん引していった。

戦時下の統制と戦後

戦時の統制では幼稚園でも、軍国主義・国家主義が強調されるようになった。キヨは「敵性国家の宗教」を信仰する者と見なされ監視の目も強まっていったという。その中でも、容認できないやり方での戦争協力はない決意を貫いた。一番の理解者で支援者の喜代助を病で亡くした後、キヨは自分らしく生き続けた。成すべきことはすべて終わりに言い置き、昭和37(1962)年、最後まで力を注いだ平塚教会の幼稚園にて見送られた。キヨが築き上げた幼児教育の場は、令和6年に創立100周年を迎えている(一面)。

女性史の視点で記す

平塚人物史研究会 星賀典子代表

平塚人物史研究会では、平塚ゆかりの明治と昭和の時代を生きた人物の功績を、男女問わず研究し、伝えていく活動をしています。会員は6人。各自興味ある人物の足跡をたどり、伝記にまとめています。当会と特別協力の須賀史談会や四之宮郷土史同好会の3人にとって、特別展で扱う女性史研究は専門ではない

平塚の女性史の研究がもたらす展開していくといいですね。特別展がきっかけになれば幸いです」と期待を込める。

兵を進めるための政策が、次々に強化されていきました。男性は仕事、女性は家庭という固定的な性別での役割分担。女性が人として生きる権利を著しく制限された中で、自分らしく生き抜いた10人の生涯を、ぜひ特別展でご覧ください。



特別展に向け、博物館で図録の内容への議論を重ねる早田先生を含む10人

年	出来事
1877	比企キヨ、二宮で生まれる
1882	戸倉やマ、平塚(寺田縄)で生まれる
1899	ヤマ、東京音楽学校(現在の東京藝術大学)へ入学
1903	キヨ、比企喜代助と結婚
1906	ヤマ、東京音楽学校での日本人による初のオペラ上演で、主演を務める
1911	キヨ、受洗する
1920	ヤマ、女子学習院教授に任官。後の香淳皇后を教える
1923	関東大震災
1924	平塚初の幼稚園、平塚二葉幼稚園開設(キヨは園長)
1929	富田省造が平塚幼稚園を設立。レイも設立に参加

地域福祉の 拠点を作った 社会事業家

富田レイ

明治39(1906)年、現在の真田で生まれる。旧姓・上野。夫の富田省造が創設した平塚幼稚園を継承して湘南福祉センターを築いた。国から昭和42(1967)年に藍綬褒章、51(1976)年に勲六等宝冠章を受章。平成17(2005)年没、99歳。



1976年(湘南福祉センター蔵)

日本人初の
オペラ上演で
主演した教育者

戸倉ヤマ

明治15(1882)年に現在の寺田縄^{きつかわ}で生まれる。旧姓・吉川。東京音楽学校(現・東京藝術大学音楽学部)^{げいじゆつ}卒業。卒業後は同校助教授など教育者の道へ。41(1908)年に平塚市岡崎の会社員、戸倉保三と結婚。昭和41(1966)年没、83歳。



左がヤマ。大正末期ころ(戸倉輝子氏蔵)

歩んだ音楽教育の道

明治36(1903)年7月23日、東京音楽学校奏楽堂で、日本人による初めてのオペラ「オルフォイス」(グルック作曲)が上演された。歌唱・演技・照明・舞台のほぼ全てを有志

た。特別展でヤマを担当した鈴木美都子さん(左写真)は「3幕3時間を歌い上げ、絶賛された歌はどれほど素晴らしかったのか。聴いてみたかったです」としみじみと話す。

▼
演者から教育者へ

卒業後は、世界へ進出し舞
台に立ち続けた三浦環とは対
照的に、ヤマは教育者の道を
選ぶ。音楽教師としての34年



教え子との再会で注目

ヤマは、母校や学習院で助教授を務めた他、大正7（1918）年に開校した、女子学習院で教授を務めた。そこで後の香淳（良子）皇后に、音楽指導をしたのであった。ヤマは昭和30（1955）年に昭和天皇と香淳皇后が、大磯を訪れた際に再会。この再会を詠んだ皇后の歌（4面）が新聞

に載ったことで、ヤマの業績が注目された。家族が日本初のオペラ上演の話を知ったのもこのときだったそう。ヤマは「私のようなものを恩師とっていつまでもお忘れなく、本当にうれしく思っています」と語っている。喜びのあまり、実家のマキの若木を母校の金田小学校に寄贈した。現在、金田公民館に移された木(右写真)は、ヤマのように穏やかに故郷を見守っている。



地域のための保育園

富田レイは、保育園を拠点に地域の社会福祉に取り組ん

を取り、生涯、幼児教育の現場で奔走し続けた。

『困った』に応えたい

真）は、「困っている人を助けたい、という思いがずっと根底にある方です」と紹介する。

昭和4（1929）年、レイ
は富田省造と平塚幼稚園を設
立。5年に2人は結婚した。

レイの幼児教育への思い

は、17歳で経験した関東大震災の後、託児所での奉仕活動や自身の療養期間などで芽生えたものだった。必要な資格

前は、商家の多忙な親が多かった。富田夫妻はさまざま要望に応えるため、8年に託児所を平塚幼稚園に併設



し、保育園に変えた。当時は朝4時に預けた親が、夜遅くまで迎えに来られない、というのは日常だった。

戦時中も幼児教育の場を絶やすことはなかった。資金集めに苦しみながらも、二つの

社会福祉の先駆者

戦時保育園を開設。しかし省造が亡くなり、さらに戦後の経営は難航した。そのため一つの戦時保育園を譲渡。その中でもレイは、平塚保育園と平塚第一戦時保育園（現在の柳町保育園）での保育の場を守り抜いた。28（1953）年には、地域住民の声に応え、明石町保育園を開いた。

付いています」と加える。



創設当初の高村保育園。
2018年に新園舎に建て替え



創設当初の高村保育園。
2018年に新園舎に建て替え
(湘南福祉センター蔵)

昭和40（1965）年、現在の湘南福祉センターが完成。ここでは児童養育相談所と診療所を併設しただけでなく、かねてニーズの高かった「乳児保育」を始めた。44年には市と地域の要望に答え、横内保育園を開いた。杉園さんは「地域のための保育園という思いから、必ず地域の名前が

また障がいのある子と共に過ごせる統合保育が必要だと考えていたレイ。統合保育が認可された高村保育園を、52年、71歳のときに開いた。

子どもたちの「じょうぶな身体とやさしい心のため」というレイの思いを、後を継いだ人たちも大切にし続けている。レイが築いた社会福祉の拠点は全て、これからもその役割を担っていく。

4 面

特別展では
人物にちなんだ
企画もあります

2005	1999	1977	1975	1969	1966	1965	1962	1956	1953	1945	1944	1941	1943	1940	1933	1930	
レイ永眠	レイ、理事長を辞任。	レイ、統合保育の実践の場として高村保育園を開設	国際女性年	レイ、横内保育園を開設	ヤマ永眠	児童養育相談所・診療所を併設。乳児保育を始める	キヨ永眠	香淳皇后、ヤマとの再会を新年の歌にする	明石町保育園を開設	社会福祉事業法により平塚保育園が法人になる。レイ、園長兼理事長。	7月に平塚大空襲8月に終戦	省造が亡くなり、レイが園長を引き継ぐ	戦時保育園も開設	農繁期託児所が平塚第1戦時保育園（現在の柳町保育園）になる。茅ヶ崎	富田夫妻、農繁期託児所を開設	富田夫妻、平塚幼稚園に託児所を併設し、平塚保育園に変更	キヨ、有志と遊郭再建反対運動を展開 （日本基督教婦人矯風会平塚支部長を務める）

